

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

721-689

事務事業名	三遠南信教員交流				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課		包含する細々目	1	10	3	2	10	1	550
政策	8 交流と連携が活力を生むまちづくり											
施策	82 三遠南信・中京圏の連携推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間	11	年度～								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	三遠南信地域の教員		現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	三遠南信地域の教員の資質向上と交流を目的に、お互いの授業方法、学校環境、地域性を学ぶことにより、より知識を深め、子どもたちに還元する。		18目標	最終目標		
			18実績	19目標		↑ 最終目標達成年度
		23目標	23実績			
		18目標	最終目標			
		18実績	19目標		↑ 最終目標達成年度	
		23目標	23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	平成5年当時、飯田・浜松市間で交流をしており、平成11年現在の三遠南信中学生交流開始と同時に3市による教員交流も開始された。	<ul style="list-style-type: none"> * 小学校教員2名・中学校教員2名を選出し、浜松・豊橋へ小学校各1名、中学校各1名を派遣。(H18.11.8～H18.11.10) * 教育長との昼食会(意見交換の場) * 市内見学(かわらんべなど) * 研修者が担当する教科を中心に授業参観、意見交換会等をおこない、帰校後、レポート交換をした。交流終了後も、情報交換をしている教員も多い。 	研修教員	12名
	18年度の実績			
	19年度計画	<ul style="list-style-type: none"> * 小学校教員2名・中学校教員2名を選出し、浜松・豊橋へ小学校各1名、中学校各1名を派遣。(H19.11.7～H19.11.9) ・教育長との昼食会(意見交換の場) ・市内見学など(川本喜八郎記念館、巡回科学実験教室実演) ・学校見学、担当する教科を中心に授業参観、意見交換会等をおこない、帰校後、レポート交換をする。 	研修教員	12名

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源		550
事業費計(A)	0	550	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		160
	人件費計(B)	0	572
	トータルコストA+B	0	1,122

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	三遠南信中学生交流事業を行うことにより、三遠南信・中京圏域と共通の課題を認識する。協力し補完しあう。	都市間交流に参加している市民の割合(三遠南信・中京圏)	現状値	8.5	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	10
		三遠南信・中京圏との連携や交流が重要だと思ふ市民の割合	現状値	74.2	19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標	80	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
三遠南信中学生交流会をきっかけに教員による交流も実施されるようになる。	* 授業や学校行事の日程調整をとるのに苦労するが、他県の授業方法等の情報を得ることができる。	

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)	
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	廃止・休止した場合の影響はありますか	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)			他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		効果 性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？		(評価) 妥当である (受益者とその理由)	

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 教員交流会の現状維持することによって、交流意識が継続される。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	交流意識の継続

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	